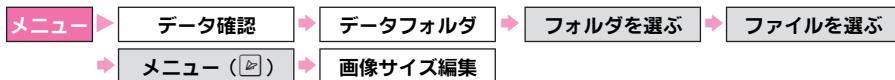
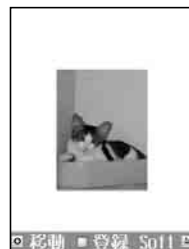
画像の編集

画像を拡大／縮小する

画像の拡大／縮小は、画面の中心を基点にして行います。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ ▶ ファイルを選ぶ ▶ メニュー（□）▶ 画像サイズ編集

1 「1拡大縮小」を選び、●を押す。

画面下部左に「**移動**」が表示されます。表示されていないときは、□（**リサイズ**）を押します。

●画像表示中に□（**リサイズ**）を押しても、同様に操作できます。

拡大／縮小の中心を変更する

●□（**移動**）を押します。このあと◎で、拡大／縮小の中心となる位置を、画面中央部に移動します。

●ボタンを押している間、画像が移動します。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上移動できない位置まで移動すると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

リサイズモードに戻るとき

画像を移動したあと、□（**リサイズ**）を押します。

2 ◎（拡大）または◎（縮小）で、画像のサイズを変更する。

ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像をなめらかにする：□（Soft）

●拡大により画面からはみ出した（表示されていない）部分は、登録時に自動的に消去されます。

●拡大／縮小後に、□（**移動**）を押し移動モードにしたときは、拡大／縮小した結果は破棄され、元の大きさに戻ります。

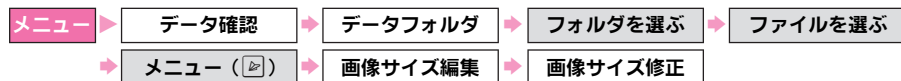
3 ●を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像サイズを変更する

データフォルダに登録されている画像を、壁紙用やメール添付用などのサイズに変更します。

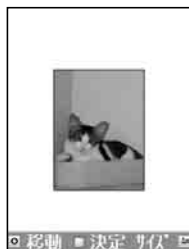
- 固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。（画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。）
- 画像サイズが大きいと、画像を表示できないことがあります。
- 「画像サイズ編集」が選択できない画像は、利用できません。

固定サイズに変更する

1 **「1壁紙用」～「5アラーム時表示用」のいずれかを選び、◉を押す。**

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（「1壁紙用」を選んだときを除く）

- 変更できるサイズは、次のとおりです。

壁紙用	横240×縦320ドット
写メール用	横120×縦160ドット
パワー ON／OFF用	横240×縦260ドット
着信時表示用	横240×縦80ドット
アラーム時表示用	横240×縦100ドット

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア／（サイズ）

2 ***画像の表示範囲を指定する***

1 で表示範囲を選び、◉を押す。

- 画像サイズによっては、表示範囲を選べないことがあります。

画像を拡大縮小する

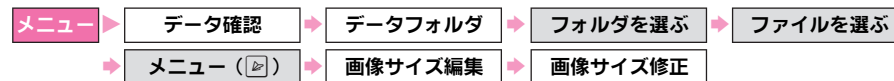
1 （リサイズ）を押す。

画面下部左に「移動」が表示されます。

2 （拡大）または（縮小）でサイズを変更し、◉を押す。

3 **◉を押す。**

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

サイズを自由に変更する

1 **「6自由切出」を選び、◉を押す。**

2 **で「＋」を切り出す部分の左上に移動し、◉を押す。**

3 **で「＋」を切り出す部分の右下に移動する。**

■ 指定のやり直し：（戻る）➡操作２からやり直す

4 **（完了）を押す。**

■ 画像サイズ選択のやり直し：クリア／（サイズ）

■ 表示範囲の指定／画像の拡大縮小：☞P.10-18操作２

5 **◉を押す。**

6 **もう一度◉を押す。**

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像に文字やマーカーを追加する（マーカースタンプ）

画像に文字や矢印のマーカーを追加して加工することができます。

- JPEG画像／PNG画像で利用できます。データ内容によっては、利用できない画像があります。
- 「マーカースタンプ」が選択できない画像は、利用できません。

1 **「1マーカースタンプ」を選び、◉を押す。**

■ 文字色の設定：「7文字色設定」選択➡◉➡色選択➡◉

■ 文字を縁取らない：「8縁取り設定」選択➡◉➡「2OFF」選択➡◉

PNG形式の画像は、「白文字（黒フチ）」の固定です。「文字色設定」、「縁取り設定」は利用できません。

2 文字を入力する

1「1文字」を選び、●を押す。

2 文字を入力し、●を押す。

- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。
- 文字入力のやり直し：0（戻る）→操作1からやり直す
- 文字色の変更：1～9
- 縁取りのON／OFF：0（押すたびに切替）

マーカーを付ける

1 マーカーの種類を選び、●を押す。

- マーカーの変更：0（戻る）
- 文字色の変更：1～9
- 縁取りのON／OFF：0（押すたびに切替）

3 で文字やマーカーを付ける位置を選び、●を押す。

4「1YES」を選び、●を押す。

- 文字／マーカーの追加：「2マーキング」選択→●→（メニュー）→操作２～４をくり返す
- 画像の確認：「3画像確認」選択→●
- 編集の取消：「4編集キャンセル」選択→●→「1YES」選択→●

5「1編集完了」を選び、●を押す。

6「1YES」を選び、●を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像に画像スタンプを追加する

画像に画像スタンプを追加して加工することができます。

- あらかじめ登録されている画像スタンプ以外にも、ウェブなどで入手した画像を、画像スタンプとして利用することができます。（PNG画像が利用できます。ただしデータ内容によっては、利用できない画像があります。）
- 「スタンプ」が選択できない画像は、利用できません。

あらかじめ登録されている画像スタンプを利用する

1「1 固定スタンプ」を選び、●を押す。

- カスタムスクリーンの画像スタンプを利用：「3カスタムスクリーン」選択→●
  - ■カスタムスクリーン設定時に、選択できます。

2「1 此処！」～「8足跡」のいずれかを選び、●を押す。

- 画像スタンプの変更：0（戻る）→種類選択→●

3 で画像スタンプを付ける位置を選び、●を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

オリジナルの画像スタンプを利用する

1「2オリジナル」を選び、●を押す。

2 データフォルダから画像を選び（☞P.10-8）、●を押す。

- 画像スタンプの変更：0（戻る）→操作１からやり直す

3 で画像スタンプを付ける位置を選び、●を押す。

4 ●を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変えることができます。

- JPEG画像で利用できます。
- 連写画像も装飾できます。
- 装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分を抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）
- 「画像装飾」／「連写画像装飾」が選択できない画像は、利用できません。

1「4画像編集」を選び、●を押す。

- 連写画像の装飾：「3連写画像装飾」選択→●→P.10-22操作３へ

連写画像を装飾すると、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の１枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録（☞P.10-16）してから操作してください。

2「2画像装飾」を選び、●を押す。

3 装飾の種類を選び、◉を押す。

●設定できる装飾の種類は、次のとおりです。

セピア	セピア色で濃淡を表現
きらめき	光る部分を十字に輝かせる効果を表現
シャボン玉	背景にシャボン玉を飛ばすような効果を表現
万華鏡	万華鏡のような効果を表現
浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
線検出	線で描いた絵のような効果を表現
アルミ缶	アルミ缶の側面に貼り付けた効果を表現
円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

4 ◉を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わります。装飾された画像の登録や、メールの送信ができないことがあります。

顔写真を加工する（フェイスアレンジ）

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに加工できます。

●JPEG画像で利用できます。

●フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工します。正面を向き顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。また、次のときは、うまく加工できないことがあります。

■ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など

●画像に応じて、顔パーツの位置や大きさを調整できます。（☞P.10-23）

●「フェイスアレンジ」が選択できない画像は、利用できません。

メニュー ▶ データ確認 ▶ データフォルダ ▶ フォルダを選ぶ ▶ ファイルを選ぶ ▶ メニュー（✎） ▶ 画像編集 ▶ フェイスアレンジ

1 アレンジの種類を選び、◉を押す。

●設定できるアレンジの種類は、次のとおりです。

右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔	ほっそり	細くなった顔
左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔	くしゃ顔	上下に圧縮された顔
微笑む	目、口が微笑んでいる顔	色黒	色黒になった顔
怒る	目、口が怒っている顔	色白	色白になった顔
悲しむ	目、口が悲しんでいる顔	カチン	怒りマークを合成

■ アレンジのやり直し：Ⓞ（戻る）

2 ◉を押す。

編集後の画像が新しい画像として登録されます。

フェイスアレンジを行った画像をロングメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

フェイスアレンジ（☞P.10-22操作１）を行うと、認識した顔パーツの位置が、加工する顔の位置とずれていることがあります。このときは、以下の操作で位置や大きさを調整できます。

●顔パーツは画像ごとに調整して登録します。

1 「☒顔抽出確認」を選び、◉を押す。

現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 ✎（修正）を押す。

顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 顔の輪郭を指定する。

◈で顔の輪郭の左上に「＋」を移動　◈で顔の輪郭の右下に「＋」を移動　顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：Ⓞ（戻る）

4 右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを指定する。

●画面上部のガイドに従って、操作３と同様に操作します。

右目の位置を指定　左目の位置を指定　口の位置を指定

5 指定が終われば、✎（完了）を押す。

指定した顔パーツがすべて表示されます。

●顔パーツの指定をやり直すときは、操作２からやり直します。

■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：Ⓞ（リセット）

6 ●を押す。

7 「[1]YES」を選び、●を押す。

指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登録され、フェイスアレンジ画面に戻ります。

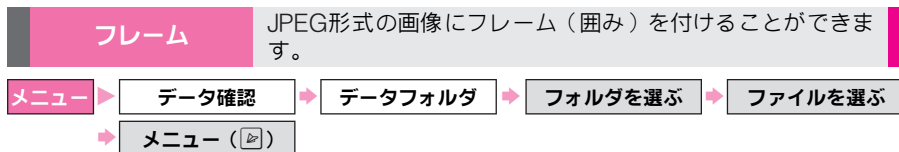
- このあと、新規登録した画像を使ってフェイスアレンジの操作を行うと、指定した顔パーツで画像を加工することができます。

その他の画像編集

- 「フレーム」、「連写フレーム」、「90度回転」、「ムービングフォトフレーム」、「保存形式変換」のメニューが表示されるファイルで利用できます。
- 編集後は、新しい画像として登録されます。

フレーム

JPEG形式の画像にフレーム（囲み）を付けることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（[✎]）

画像にフレームを付ける

「[4]画像編集」選択➡●➡「[4]フレーム」選択➡●➡「[1]固定フレーム」／「[2]オリジナル」選択➡●➡フレーム選択➡●➡●

■ カスタムスクリーンのフレームを利用：「[4]画像編集」選択➡●➡「[4]フレーム」選択➡●➡「[3]カスタムスクリーン」選択➡●➡●

- ■カスタムスクリーン設定時にだけ、選択できます。

■ フレームの確認：フレーム選択➡[O]（表示）

- ■フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと[O]（戻る）

連写画像にフレームを付ける

「[4]連写フレーム」選択➡●➡「[1]固定フレーム」／「[2]オリジナル」選択➡●➡フレーム選択➡●➡●

■ カスタムスクリーンのフレームを利用：「[4]連写フレーム」選択➡●➡「[3]カスタムスクリーン」選択➡●➡●

- ■カスタムスクリーン設定時に、選択できます。

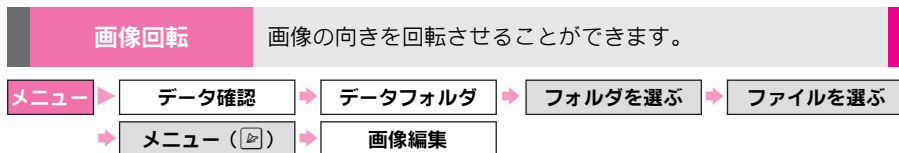
■ フレームの確認：フレーム選択➡[O]（表示）

- ■フレーム選択画面に戻る：上記操作のあと[O]（戻る）

補足：連写画像にフレームを付けると、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の1枚の画像だけを装飾するときは、個別の画像として登録（☞P.10-16）してから操作してください。

画像回転

画像の向きを回転させることができます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（[✎]） ➡ 画像編集

「[6]90度回転」選択➡●※➡●

※[✎]（回転）を押すたびに、画像が90度ずつ回転します。

ムービングフォトフレーム

JPEG形式の画像に、動くフレームを付け、アニメーション風に仕上げます。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（[✎]） ➡ 画像編集 ➡ ムービングフォトフレーム

フレーム選択➡●➡●

■ ムービングフォトフレームの確認：フレーム選択➡[O]（表示）

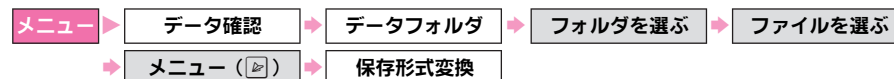
- ■ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：上記操作のあと[O]（戻る）

- 作成したアニメーションは、「E-アニメータ」（.nva）形式で登録されます。

ムービングフォトフレームのサイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像は、画像の中心にムービングフォトフレームが付きます。うまく加工できないときは、フレームの種類に応じて画像のサイズを変更したり、お好みのサイズに切り出してください。（☞P.10-18、P.10-19）

保存形式変換

画像の形式をJPEG形式（「[J]」表示）やPNG形式（「[P]」表示）に変換します。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（[✎]） ➡ 保存形式変換

保存形式選択➡●

- 保存形式を変換できるのは、横120×縦160ドット以下の画像です。
- 変換前と同じ形式は、選択できません。

保存形式を変換すると、画質が変わることがあります。

画像の合成

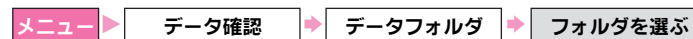
- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なることがあります。

分割画像を作成する

最大4枚の画像を縮小し、1枚の画像内に配置して分割画像を作成することができます。

- JPEG画像で利用できます。
- 連写画像も利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。
- 指定した番号順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。

分割画像

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ

1 左上に配置する画像を選び、●を押す。

- この時点では、連写画像は選べません。左上に連写画像を配置するときは、P.10-26操作10で画像の変更を行い、連写画像に変更します。

2 （メニュー）を押す。

3「5画像合成」を選び、●を押す。

4「1 4分割画像作成 120×160」または「2 4分割画像作成 240×320」を選び、●を押す。

5 ファイル名を入力し、●を押す。

●全角16文字（半角32文字）以内で、必ず入力してください。

6 番号を選び、●を押す。

V403SHのデータフォルダが表示されます。

7 フォルダを選び、●を押す。

8 画像を選び、●を押す。

●選択できない画像は、利用できません。

■ 画像の変更：（変更）

■ 指定する番号から選び直す：（戻る）

9 ●を押す。

分割画像用の画像として指定されます。

10 操作6～9をくり返し、画像を指定する。

■ 分割画像の確認：（メニュー）➡「1分割画像表示」選択➡●

■分割画像作成のメニューに戻る：上記操作のあと（戻る）➡クリア

■ 画像の変更：画像選択➡（メニュー）➡「2 変更」選択➡●➡操作7からやり直す

■ 画像の消去：画像選択➡（メニュー）➡「3 消去」選択➡●➡「1YES」選択➡●

11 （完了）を押す。

■ 分割画像のメール送信：「2メール添付」選択➡●➡ロングメール作成／送信（☞P.3-3操作2以降）

12「1登録」を選び、●を押す。

合成後の画像が新しい画像として登録されます。

連写画像内の1枚の画像を利用する

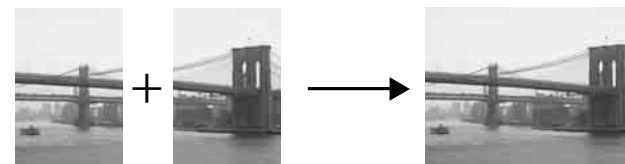
■ 操作6のあと、次の操作を行います。

連写フォルダ選択➡●➡連写画像選択➡●➡（画像選択）➡●➡操作10へ

●ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。

■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

2枚の画像をパノラマ合成する

2枚の画像を横に並べて、1枚の画像にします。

画像に応じて次の効果を選べます。

標準	近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらの合成にも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像の合成に適しています。
ドキュメント	説明板など文字のある画像の合成に適しています。

●横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像で、利用できます。

●2枚の画像サイズが異なるときは、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成されます。

●色あいが異なる2枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成できないことがあります。

●「パノラマ合成」が選択できない画像は、利用できません。

1 1枚目の画像を選び、●を押す。

2 （メニュー）を押す。

●連写画像をパノラマ合成するときは、操作4へ進みます。

3「5画像合成」を選び、●を押す。

4「パノラマ合成」を選び、●を押す。

選んだ画像は左側の画面に表示されます。

5「1標準」～「3ドキュメント」のいずれかを選び、●を押す。

6「2」を選び、●を押す。

データフォルダが表示されます。

7 もう1枚の画像を選び、●を押す。

8 ◉を押す。

● 画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときは、画像選択画面に戻ります。画像を選び直してください。

■ 画像の変更：画像選択 ➡◉➡ ✎（**変更**）➡P.10-27 操作７からやり直す

パノラマ合成
効果[標準]
1 06-05-15_13-12
2 06-05-15_13-13
完了　選択

9 画像の指定が終われば、ⓞ（完了）を押す。

合成された画像が表示されます。

● ✥を押すと画像が移動し、隠れている部分を表示できます。

■ 画像の左右入れ替え：✎（**入替**）

10 ◉を押す。

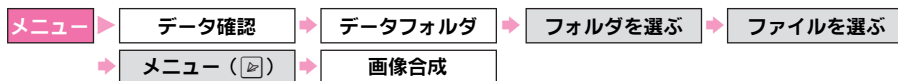
合成後の画像が新しい画像として登録されます。

分割画像（画像分割メール）を結合する

画像分割メールに添付されてきた画像の１つを指定することで、４枚の画像を自動的に結合できます。

● 受信した画像のファイル名を変更したり、同じファイル名の画像があるときは、正しく結合できないことがあります。

● 画像分割メールで送受信した画像を結合すると、画質が変わることがあります。

メニュー ▶ データ確認 ➡ データフォルダ ➡ フォルダを選ぶ ➡ ファイルを選ぶ ➡ メニュー（✎）➡ 画像合成

1 「3 画像分割メール結合」を選び、◉を押す。

2 ◉を押す。

合成後の画像が新しい画像として登録されます。